

MITSUBISHI 業務用エコキュート リモコンRP-8QA 操作説明書

目次

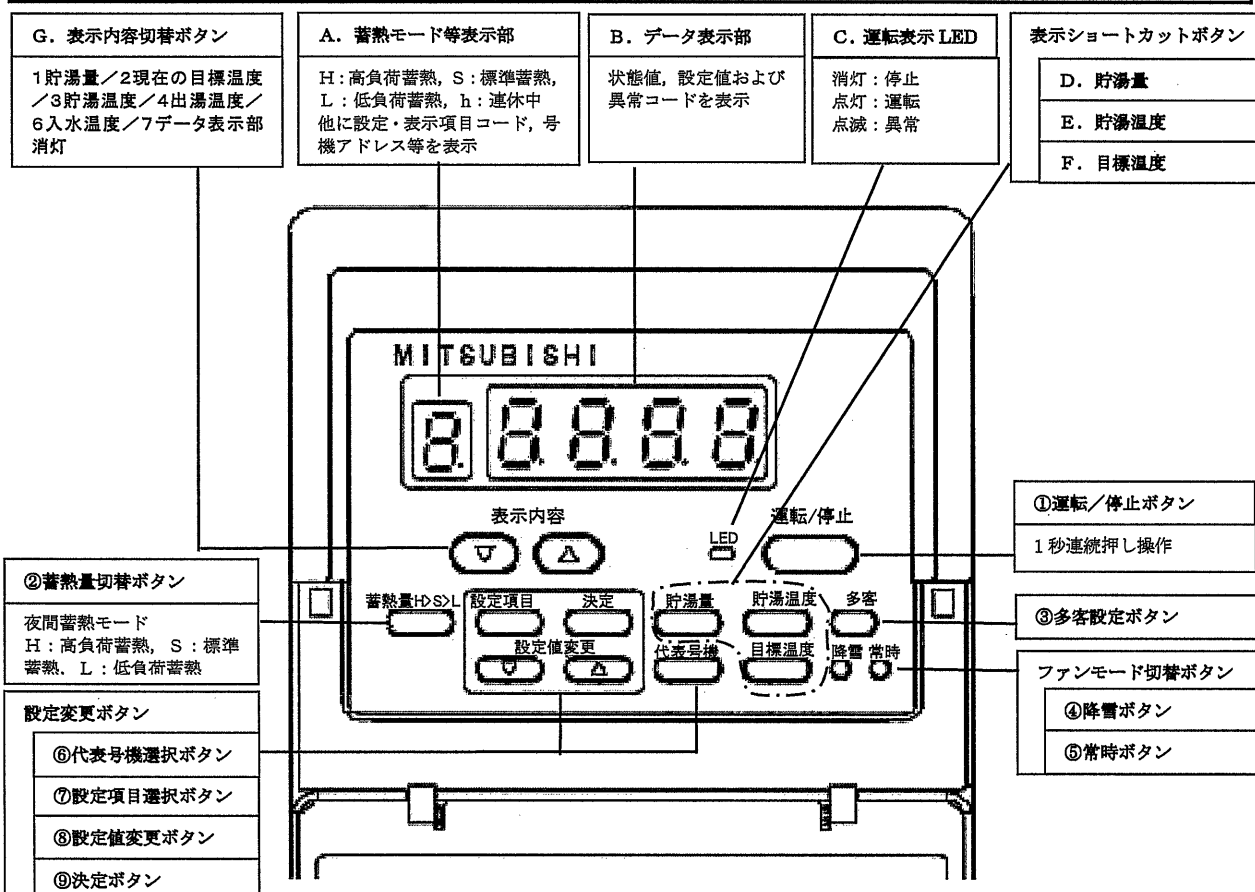
1. 部の名称
2. 表示
3. 日常操作

4. システム設定
5. 異常コード

⚠ 安全のために必ず守ること

- ・本機を水洗いしない。感電、故障の原因となります。
- ・AC100V や AC200V は絶対に印加しない。リモコン印加電圧は最大で 12V です。火災の原因となります。
- ・濡れた手でボタン操作しない。感電、故障の原因となります。
- ・ボタンを先の尖った物で押さない。火災、感電の原因となります。
- ・お客様自身で移設しない。工事に不備があると感電、火災の原因となります。

1. 各部の名称



下蓋内部表示名板

ボタン下

- 運転/停止ボタンは1秒間以上押し続け点灯/消灯を確認してください。
- 4桁の LED が点滅している時は点検が必要です。
- 1桁の LED には蓄熱モードを表示します。h: 連休中, S: 標準蓄熱, L: 低負荷蓄熱, H: 高負荷蓄熱
- 4桁の LED 表示において整数値は貯湯量%, 0.5単位の値は温度°Cを示します。

蓋の裏

■「表示内容」ボタン・コード内容	■「設定項目」ボタン・コード内容	*1.現地システム盤制御の場合設定が必要
1 貯湯量(%)	A 連休日数(翌日以降休日数,0:解除)	n 貯湯温度2(冬期高負荷)(°C)
2 現在の目標温度(°C)	b 現在時刻	o 保温温度(ON 値)(°C)
3 貯湯温度(°C)	C デマンド開始時刻	P 出湯温度(°C) *1
4 出湯温度(°C)	d デマンド終了時刻	t 夜間貯湯レベル1(通常)(%)
6 入水温度(°C)	E 夜間貯湯レベル適用開始時刻	U 夜間貯湯レベル2(低負荷)(%)
7 データ表示部消灯	F 夜間貯湯レベル適用終了時刻	8 昼間貯湯レベル1(通常)(%)
	i 昼間貯湯レベル適用終了時刻	9 昼間貯湯レベル2(多客)(%)
	J 貯湯温度1(通常)(°C)	0 デマンド最大運転容量(%)

2. 表示

(1) 通常時表示

A. 蓄熱モード表示

A.蓄熱モード表示部に「S」「L」「H」「h」のいずれかを表示します。

「S」「L」「H」の切替えは②蓄熱量切替ボタンで「h」の設定は⑥～⑧設定ボタンで行います。

表示	モード	内容
S	標準蓄熱	夜間貯湯運転を夜間貯湯レベル1(通常)と貯湯温度1(通常)を目標に制御します
L	低負荷蓄熱	夜間貯湯運転を夜間貯湯レベル2(低負荷)と貯湯温度1(通常)を目標に制御します
H	高負荷蓄熱	夜間貯湯運転を夜間貯湯レベル1(通常)と貯湯温度2(冬期高負荷)を目標に制御します
h	連休中	連休設定により夜間貯湯運転が「L(低負荷蓄熱)モード」となったことを示します

B. データ表示

B.データ表示部に選択した表示項目の代表号機状態値を表示します。データは30秒毎に更新します。

注1. G表示内容変更ボタン△▽いずれかを押すと、A.蓄熱モード表示部に現在の表示項目コードが表示されますので1秒以内に△▽はいずれかを押して表示したい項目コードを選択ください。

注2. D～F表示ショートカットボタンにより表示項目を選択した場合には表示コードは表示されません。

項目コード*	表示項目	内容
1	貯湯量(%)	有効貯湯量を100%とし現在の貯湯量を1%単位で表示します。
2	現在の目標温度(°C)	熱源機の現在の制御目標値(設定貯湯温度, 設定保温温度, 設定出湯温度のいずれか)を表示します
3	貯湯温度(°C)	現在の貯湯温度を0.5°C単位で表示します
4	出湯温度(°C)	現在の出湯温度を0.5°C単位で表示します
6	入水温度(°C)	現在の入水温度を0.5°C単位で表示します
7	データ表示部消灯	データ表示部を消灯します

(2) 異常時表示

異常発生時には各表示部は次の表示となります。

複数の号機より異常通報がある場合はアドレス順に表示を繰り返します。

A. 蓄熱モード表示部	B. データ表示部	C. 運転表示 LED
異常通報号機アドレス点滅	異常コード点滅	点滅

異常コードは4項参照

(3) 設定値入力時の表示

設定ボタンで設定値を入力する際には、A.蓄熱モード表示部に設定項目コードを B.データ表示部に代表号機の設定値を表示します。

項目コード*	設定項目	項目コード*	設定項目
A	連休日数(翌日以降休日数, 0:解除)	n	貯湯温度2(冬期高負荷)
b	現在時刻	o	保温温度(ON 値)
C	デマンド開始時刻	P	出湯温度(現地システム制御時のみ設定)
d	デマンド終了時刻	t	夜間貯湯レベル1(通常)
E	夜間貯湯レベル適用開始時刻	U	夜間貯湯レベル2(低負荷)
F	夜間貯湯レベル適用終了時刻	8	昼間貯湯レベル1(通常)
i	昼間貯湯レベル適用終了時刻	9	昼間貯湯レベル2(多客)
J	貯湯温度1(通常)	0	デマンド最大運転容量(%)

(4) 各種モード切替操作時の表示

「多客」「降雪」「常時」のボタンを押した際には、B.データ表示部に次の表示となります。

熱源機がリモコンからの設定変更を受け付けない設定となっている場合は、設定変更に関らず自動的に元の設定に表示が戻ります。

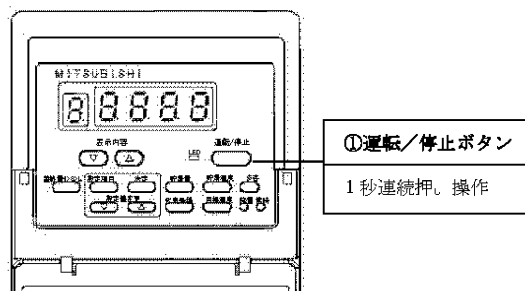
ボタン	B.データ表示部
多客	ボタンを押すと現在の状態値を表示し、もう一度押すと状態を反転させます b.on=多客モード, b.off=通常モード
降雪	ボタンを押すとS.onを表示しファン降雪モードとなります
常時	ボタンを押すとS.offを表示しファン常時モードとなります

3. 日常操作

(1) 運転／停止操作

①運転／停止ボタン(1秒連続押し)で熱源システムを運転・停止させます。蓄熱利用給湯システムですので運転スイッチは常時入れておいてください。

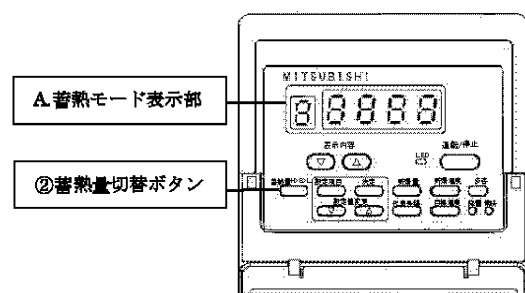
上水道が断水時にはシステムを停止してください。断水状態で使用すると貯湯運転中に熱源機の保護装置が作動します。



(2) 夜間蓄熱量切替え

季節により給水温度が変化し必要夜間蓄熱量も変わります。②蓄熱量切替ボタンで3段階の夜間蓄熱量を選択できます。ボタンを押すごとに A.蓄熱モード表示部が「S標準蓄熱」「H高負荷蓄熱」「L低負荷蓄熱」が切り換わります。

通常期は「S標準蓄熱」で使用し、1日の残湯量を見て必要に応じ、冬期「H高負荷蓄熱」、夏期「L低負荷蓄熱」に切替えて使用ください。「L低負荷蓄熱」で使用すると放熱量が減少し省エネに繋がりますが負荷増加時に設定変更を忘れると昼間電力使用量が増加しますのでご注意ください。



(3) 多客設定

利用者数が多い等、通常日より給湯使用量が多い日に、昼間目標貯湯量を通常より高めの設定値に切替え追掛け貯湯運転を早めに行うものです。

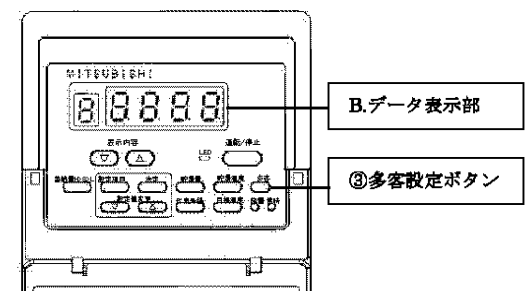
③多客設定ボタンを押すと現在の設定状態が B.データ表示部に表示され、もう一度押すと状態が反転します。

1分経過で自動的に操作前の表示に戻ります。

B. データ表示部	設定	制御動作
b. OFF	通常モード	昼間貯湯目標を昼間貯湯レベル1(通常)とする
b. ON	多客モード	昼間貯湯目標を昼間貯湯レベル2(多客)とする

bは busy の略

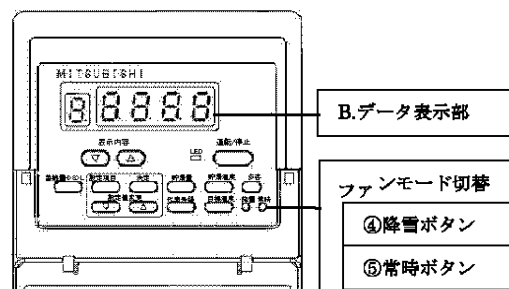
熱源機が「現地システム制御」設定となっている場合は、設定は無効で自動的に「b. OFF」表示に戻ります。



(4) ファンモード(降雪・常時)切替

比較的降雪量の少ない地域において降雪時に圧縮機停止中もファンを運転させファンへの積雪氷結を防止するものです。

④降雪ボタン⑤常時ボタンでファンモードを選択します。B. データ表示部に選択した状態が表示されます。1分経過で自動的に操作前の表示に戻ります。



B. データ表示部	設定	制御動作
S. off	常時モード	ファンは圧縮機に連動して運転停止する
S. on	降雪モード	ファンは圧縮機運転停止に関係なく連続運転する

S は snow の略

熱源機がリモコンからの降雪・常時指令を受け付けない設定となっている場合は、設定変更に関らず自動的に元の設定に表示が戻ります。

(5) 連休設定

連休等により給湯負荷のない日が続く場合は放熱量抑制と給湯再開時の貯湯温度確保のため休日前日^{*1}に連休設定することをお勧めします。連休設定すると設定した日の夜から休日最終日の朝までの間、夜間貯湯レベル2(低負荷)を目標貯湯レベルとして制御します。

*1. 休日中にも設定操作はできますが残湯量が多い状態で設定しても効果がありません。

設定手順

- ⑥代表号機選択ボタンを押し A. 蓄熱モード等表示部にアドレス「1」が表示されることを確認する。他の号機が表示された場合は⑥ボタンを繰り返し押ししてアドレス「1」^{*2}を表示させる。

*2. 代表号機「1」として設定操作すると全号機一斉に同一設定される。

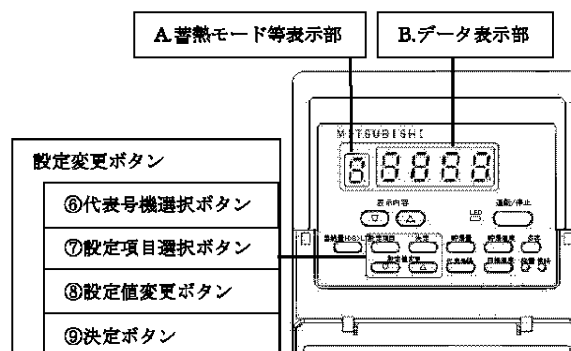
- ⑦設定項目選択ボタンを押し A. 蓄熱モード等表示部に「A」を表示させる。

- 1秒後B. データ表示部に現在の設定値が表示される。

- ⑧設定変更ボタン△▽で翌日以降の休日数を表示(点滅)させる。
(例えば5連休の場合「5」、設定解除は「0」を表示させる)

- 1分以内に⑨決定ボタンを押し設定値を確定(点灯)させる。

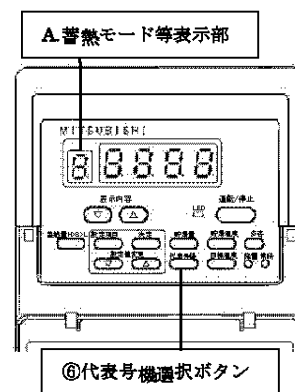
- 1分経過または他のボタン操作で操作前の表示に戻ります。A. 蓄熱モード等表示部は「h」表示となります。
(hは holyday の略)



4. システム設定

(1) 代表号機

⑥代表号機選択ボタンを押すと A.蓄熱モード等表示部に代表号機アドレスが表示されます。⑥ボタンを繰り返し押すとアドレスが1つずつ進みます。アドレス「1」を選択して設定すると全号機に同じ値が一斉に設定されます。まず、代表号機アドレス「1」として次項以降の手順で全号機に同一値を設定してください。「デマンド」および「保温温度」は必要に応じ、⑥ボタンで変更したい号機を選択した上で、全ての号機に対し設定変更してください。



(2) 設定項目

下表の項目コード b~0 はシステム稼働前に設定してください。

現地システム制御を用い熱源機組み込みのシステムを使用しない場合は E~o, t~9 の設定は不要です。

項目コード	設定項目	初期値	最小値	最大値	単位	表示刻み	早送り刻み
A	連休日数(翌日以降休日数, 0:解除)	0	0	12	日	1	-
b	現在時刻	00.00	00.00	23.59	分	00.01	0.5 秒押し…早送り
C	デマンド開始時刻	13.00	00.00	23.59	分	00.01	3 秒押し…10 分送り
d	デマンド終了時刻	16.00	00.00	23.59	分	00.01	6 秒押し…1h 送り
E	夜間貯湯レベル適用開始時刻	22.00	00.00	23.59	分	00.01	
F	夜間貯湯レベル適用終了時刻	8.00	00.00	23.59	分	00.01	
i	昼間貯湯レベル適用終了時刻	20.00	00.00	23.59	分	00.01	
J	貯湯温度1(通常)	65.0	40.0	65.0 ^{°C}	°C	0.5	0.5 秒押し…早送り
n	貯湯温度2(冬期高負荷)	65.0	40.0	65.0 ^{°C}	°C	0.5	3 秒押し…1°C送り
o	保温温度(ON 値)	60.0	40.0	61.0	°C	0.5	6 秒押し…5°C送り
P	出湯温度(現地システム制御時のみ設定)	65.0	40.0	90.0	°C	0.5	
t	夜間貯湯レベル1(通常)	100	50	100	%	5	0.5 秒押し…早送り
U	夜間貯湯レベル2(低負荷)	70	50	100	%	5	3 秒押し…10%送り
8	昼間貯湯レベル1(通常)	25	10	100	%	5	
9	昼間貯湯レベル2(多客)	40	10	100	%	5	
0	デマンド最大運転容量(%)	100	0	100	%	5	

*3.65°C以上の設定は対象給湯システムが火傷の恐れのない仕様である場合に限りリモコン本体のディップスイッチ設定変更で可能となります。設定方法はリモコン据付説明書を参照ください。

(3) 現在時刻の設定

夜間電力利用の蓄熱システムですので現在時刻の設定が必要です。年 1 回は時計の狂いを修正してください。また熱源機の電源を3日以上落とした場合は時計の狂いを修正してください。

時刻は24時間表示で例えば22時30分は「22. 30」と表示されます。

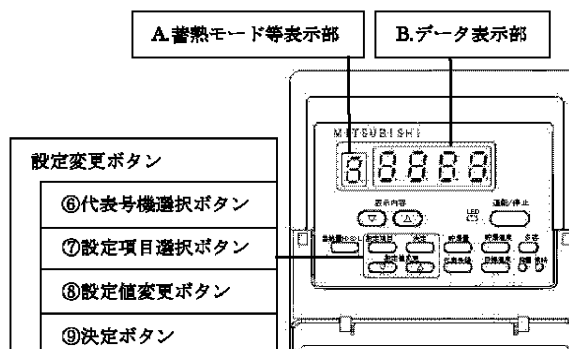
項目コード	設定項目	初期値	最小値	最大値	単位	表示刻み
b	現在時刻	00.00	00.00	23.59	分	00.01

設定手順

- ⑥代表号機選択ボタンを押し A.蓄熱モード等表示部にアドレス「1」が表示されることを確認する。他の号機が表示された場合は⑥ボタンを繰り返し押してアドレス「1」*2を表示させる。

*2.代表号機「1」として設定操作すると全号機一斉に同一設定される。

- ⑦設定項目選択ボタンを押し A.蓄熱モード等表示部に「b」を表示させる。



3. 1秒後B. データ表示部に現在の設定値が表示される。
4. ⑧設定変更ボタン△▽で現在時刻を表示(点滅)させる。
△▽ボタンは 0.5 秒連続押しで早送りに、3秒連続押しで10分送りに、6秒連続押しで1h送りになる。
5. 1分以内に⑨決定ボタンを押し設定値を確定(点灯)させる。

(4) デマンド設定

特定時間帯の消費電力を抑制したい場合に使用します。開始・終了時刻と最大運転容量を予め設定しておきます。デマンド最大容量は圧縮機最大回転数(100Hz)時を100%とし5%単位で0^{*4}~100%の間で設定できます。⑥代表号機選択ボタンで1号機を選択して設定した場合、全号機一斉に同じ値が設定されます。号機により設定値を変更する場合は⑥代表号機選択ボタンで該当号機を選択した後に設定します。

*4. 5~30%以下の数値を入力した場合 30%で制御されます。

次の3項目についてボタン⑥~⑨により(3)項同様に設定を行います。

必要設定項目

項目コード*	設定項目	初期値	最小値	最大値	単位	表示刻み
C	デマンド開始時刻	13.00	00.00	23.59	分	00.01
d	デマンド終了時刻	16.00	00.00	23.59	分	00.01
0	デマンド最大運転容量(%)	100	0	100	%	5

・開始時刻と終了時刻が同一の場合はデマンド最大運転容量 100%となります。

(5) 夜間貯湯運転(蓄熱)設定

電力料金の安価な夜間に貯湯運転(蓄熱)を行います。この時間帯は貯湯目標レベルを(6)項の昼間貯湯レベルより高く設定します。業務用蓄熱調整契約の蓄熱料金時間帯は 22:00~8:00 ですが給湯負荷状況に応じ蓄熱(夜間貯湯レベル適用)開始・終了時刻を変更することができます。貯湯温度および夜間貯湯レベルは各々2段階の設定が可能で給湯負荷変動に応じ3(2)項に示す夜間蓄熱量切替で蓄熱量を適正量に調整することができます。

次の7項目についてボタン⑥~⑨により(3)項同様に設定を行います。

必要設定項目

項目コード*	設定項目	初期値	最小値	最大値	単位	表示刻み
E	夜間貯湯レベル適用開始時刻	22.00	00.00	23.59	分	00.01
F	夜間貯湯レベル適用終了時刻	8.00	00.00	23.59	分	00.01
J	貯湯温度1(通常)	65.0	40.0	65.0 ^{*3}	°C	0.5
n	貯湯温度2(冬期高負荷)	65.0	40.0	65.0 ^{*3}	°C	0.5
t	夜間貯湯レベル1(通常)	100	50	100	%	5
U	夜間貯湯レベル2(低負荷)	70	50	100	%	5

・貯湯温度2(冬期高負荷) ≥ 貯湯温度1(通常)

・夜間貯湯レベル1(通常) ≥ 夜間貯湯レベル2(低負荷)

・開放貯湯槽における貯湯レベルは水配管中心高さを0%最大貯湯可能水位を100%とする。

*3. 貯湯温度 65°C以上の設定は対象給湯システムが火傷の恐れのない仕様である場合に限りリモコン本体のディップスイッチ設定変更で可能となります。設定方法はリモコン据付説明書を参照ください。

(6) 昼間追掛け貯湯運転の設定

昼間は貯湯量が所定量まで低下した場合に追いかけて貯湯運転を行います。昼間貯湯レベル適用終了時刻から蓄熱(夜間貯湯レベル適用)開始時刻までの間は基本的に貯湯運転は行いません*5。

*5.「湯水レベル+10cm」の貯湯量に低下すると貯湯運転を開始します。

次の3項目についてボタン⑥～⑨により(3)項同様に設定を行います。

必要設定項目

項目コード	設定項目	初期値	最小値	最大値	単位	表示刻み
i	昼間貯湯レベル適用終了時刻	20.00	00.00	23.59	分	00.01
8	昼間貯湯レベル1(通常)	25	10	100	%	5
9	昼間貯湯レベル2(多客)	40	10	100	%	5

- ・昼間貯湯レベル2(多客) \geq 昼間貯湯レベル1(通常)
- ・昼間貯湯レベル適用終了時刻を夜間貯湯レベル適用開始時刻より後の時刻を設定した場合は、夜間貯湯レベル適用開始が優先されます。

(7) 保温温度の設定

貯湯槽温度が放熱により所定温度まで低下すると循環保温運転を行います。保温温度(ON値)についてボタン⑥～⑨により(3)項同様に設定を行います。号機により設定値を変更する場合は⑥代表号機選択ボタンで該当号機を選択した後に設定します。

必要設定項目

項目コード	設定項目	初期値	最小値	最大値	単位	表示刻み
o	保温温度(ON値)	60.0	40.0	61.0	°C	0.5

- ・サーモディファレンシャルは熱源機本体で設定します。

(8) 出湯温度(現地システム制御時のみ設定)

出湯温度は現地システム制御時のみ設定が必要です。熱源機組込みのシステム制御を用いる場合には目標貯湯温度を基に出湯温度を自動算出しますので設定は不要です。

出湯温度についてボタン⑥～⑨により(3)項同様に設定を行います。号機により設定値を変更する場合は⑥代表号機選択ボタンで該当号機を選択した後に設定します。

必要設定項目

項目コード	設定項目	初期値	最小値	最大値	単位	表示刻み
P	出湯温度(現地システム制御時のみ設定)	65.0	40.0	90.0	°C	0.5

5. 異常表示

A.蓄熱モード等表示部に該当号機アドレスを、B. データ表示部に下表の異常コードを点滅表示します。複数の異常が発生している場合はアドレス順に表示を繰り返します。メンテナンス会社への連絡の際に表示内容をご連絡ください。

異常コード	異常名称	異常コード	異常名称
A471	欠相異常	5101	外気温度サーミスタ異常 (TH1)
A-PO	停電異常	5102	入口水温サーミスタ異常 (TH2)
AC61	吐出温度異常	5103	出口水温サーミスタ異常 (TH3)
AHP1	高圧異常	5104	ガスクーラ出口冷媒温サーミスタ異常 (TH4)
ALP1	低圧異常	5105	吐出温度サーミスタ異常 (TH5)
0403	インバータIPM異常	5106	吸入温度サーミスタ異常 (TH6)
2500	オーバーフロー異常	5107	空気コイル冷媒温度サーミスタ異常 (TH7)
2601	湯水異常 (運転は継続)	5108	空気熱交出口冷媒温度サーミスタ異常 (TH8)
4115	電源周波数異常	5110	インバータ放熱坂サーミスタ異常 (THHS)
4220	インバータ電圧異常	5116	貯湯槽水温サーミスタ異常 (TH16)
4230	インバータ放熱坂異常	5117	高圧圧力センサ異常
4240	インバータ過負荷保護異常	5118	低圧圧力センサ異常
4250	インバータ電流異常	5119	貯湯水位センサ異常
4260	インバータ冷却ファン異常	5301	インバータ電流センサ異常
		6000	システム異常
		6830	アドレス重複異常
		6831	リモコン送受信異常
		7105	アドレスとび異常
		7130	機種切替異常